

校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2022.1.21

NO, 8 3



デジタル教科書



6年生社会科の授業では、戦時中の生活を学習していました。子どもたちには想像しにくい生活状況です。我々教師自身も体験していないため、イメージさせるのは難しいところです。でも、現在はどの教室でも、大画面モニターで関係動画を見ることが出来ます。このときは、集団疎開、疎開先での学校での学習の様子などの動画を流していました。それを見ていると、ざわざわしていた子どもたちもし～～んとなってきました。今とはあまりにも違う様子に少し驚いたようです。今は令和の時代ですが、数年前は平成でした。その前は私たち世代が生まれ育って成長してきた昭和の時代です。こういった歴史が積み重なり、今があります。歴史を学習することは「未来」について学ぶこと、と高校時代の先生に教わった記憶があります。**歴史上の人物が何を考え、どういった志を持ちながらその社会を生きてきたのか**、こういったことを学びながら、考えながら、自分のこれからの人生をしっかりと考えていける子どもになってほしいな～～と思います。

社会だけでなく、理科などでも実験動画や生物の動画など、学習に結び付くコンテンツがいくつもあります。デジタル世代の子どもたちは、様々なコンテンツを活用しながら学んでいます。「**学び**」の本質は「**考える**」こと。自分の**五感を駆使し、主体的に自律的に「思考**」することが求められています。自分の五感で**問題を認識し、解決課題を明らかにしたうえで解決方法を見出し、解決していく**。この一連の力をつけるために「**学んで**」いる子どもたち。テストや試験をクリアすることが目的ではなく（それはひとつの通過点かな）、社会に出てから自立して生活していくための「**生きていく力**」を身につけることが目的なはず。そのために、数多くの**教科学習**をし、**様々な人と関わり、多少の(!?)困難に直面しつつもそれを乗り越え、数多くの経験、体験**をしながらたくましく優しくそして力強く成長して行ってほしいと願っています。